

教材・教具名	『数字ブロック』	
<p>製作の目的</p>	<p>1～10までの数字を音読したり、順番に数唱したりすることができる生徒が数字とブロックの個数を対応できるように製作した。</p> <p>カードにブロックと同じ大きさの見本を載せており、直接ブロックを置くほかに、見本と比べたり、見本を隠したりして木枠に並べる学習を行った。</p>	